

市内在住の小・中学生が市内の文化財を描いた「第26回ぎのわんの文化財図画作品展」の表彰式が市立博物館で行われました。今年は、台風22号の接近で、表彰式が10月28日から11月3日に延期となりましたが、各部門の教育長賞から銅賞を受賞した大勢の児童生徒が参加しました。応募いただいた209点の作品は、市立博物館企画展示室で展示されました。



小学校中学年(3・4年)の部
「森の川」
川満 笑生(普天間第二小学校3年)



中学生の部
「西森ウタキ」
新城 百花(宜野湾中学校2年)



小学校高学年(5・6年)の部
「踊る大謝名獅子舞」
折田 悠世(はこも小学校5年)

教育長賞受賞作品

「平和でないときはどんなとき？」 被爆地・長崎での平和学習を報告

市では、平和の尊さを学び平和思想に対する啓発を高めるために、市内各中学校の生徒を被爆地長崎市へ派遣しています。事前学習として、市立博物館や市内戦跡を巡り、沖縄戦や戦争時の宜野湾について学びました。長崎では、青少年ピースフォーラムへ参加し「平和でないときはどんなとき？」をテーマに、積極的に意見を交わしました。また、平和祈念式典へも参列し、原爆被害者の冥福と世界恒久平和を祈りました。

『派遣生徒の感想』

- ・私達が安心して暮らせる平和な世界になってほしいと心から思えるようになりました。
普天間中学校2年 仲村 琉希
- ・未来が平和であるために、私ができることを、精一杯がんばります。
普天間中学校2年 桃原 嬉
- ・平和で核兵器のない未来のために今私達ができることはなにかを考えさせられました。
真喜志中学校1年 玉城 珠里
- ・体験者でなくても、戦争のことを伝え続けることはとても大切だと思いました。
真志喜中学校1年 入米藏 結
- ・これからはもっと平和のことを考えていきたいです。
嘉数中学校1年 佐久田 彪雅
- ・今回学んだ事を活かし、次の世代に繋げ、世界中で笑顔がふえるように頑張ります。
嘉数中学校1年 濱川 明珠
- ・平和の大切さや命の尊さを発信していきたいと思います。
宜野湾中学校1年 池宮城 樹一郎
- ・平和を守るために自分ができそうなことを頑張っていきたいと思います。
宜野湾中学校1年 屋良 明佳里



平和パネル展開催

生徒の学習の成果等を展示します。ぜひ、ご覧ください。

日時 12月18日～22日
場所 市役所1階ロビー